

暮らしの安全・安心をまもりたい ～夢をかなえて地域で活躍する先輩たち～

私は人の役に立つ仕事がしたいという思いから、消防官になりました。災害現場は2つとして同じものはありません。毎回違った災害現場に出動する中で、活動の難しさとともに、大きなやりがいを感じています。住民の方々を災害から守るため、日々の訓練を怠らず、どんな現場にも対応できる消防官になりたいと思います。

笹野消防署 金藤 裕樹（平成29年4月入所）



私は、幼い頃から消防士という職業に憧れていました。

消防の仕事は、災害の最前線に出動して、かけがえのない命を守ることのできる素晴らしいものだと思います。憧れの職に就けた今、住民の生命、身体及び財産を守るため、日々訓練に励んで行きたいと思います。

神敷台消防署 園部 快斗（平成30年4月入所）



私は、事故や急病の患者のもとに迅速に駆け付け、不安に寄り添いながら的確な処置をする救急隊員に魅力を感じ、消防士を志しました。

まだ救急隊として現場には出動していませんが、先輩隊員から多くの事を学んでいます。患者の皆さんに安心を与えられるような、強く優しい救急隊員になれるよう、努力していききたいと思います。

東海消防署 大内 翔貴（平成30年4月入所）

